

平成27年度版

病院年報

第40巻



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

平成27年度病院年報の発刊にあたって

院長 丸 木 親

院長職を拝命致しましてから一年が過ぎ、残念ながら人件費の上昇や診療材料費の高騰で、収支では昨年度を下回ってしまいました。

一年目はこの病院ができることを見極めようと考え、そのためにはどのような体制を整備するかが課題でした。病院はそれぞれの部門が協力し合って成り立っているのですから、いくら秀でている部門があったとしても、その実力を発揮できるかどうかは関連部門の能力が律速段階になってしまいます。いくら心臓が丈夫でも、筋力がなければランナーは早く走ることができません。一年が過ぎてようやくこの病院の総合的な体力が徐々にわかってきたように思います。伸ばせる部分を伸ばし、残念ながら努力や改善をしても伸びしろがない部分に関しては縮小する段階に入った様を感じています。

医療を行う上で、人件費が多くかかるという点はやむを得ないと思います。しかし過剰人員、過剰ベッドを維持できるだけの体力はもうこの病院には残っていません。一部の職員はこの病院で働く事は自身で決めたことではなく、大学や自治体からの派遣といった感覚があることは否定できません。しかし、私の経験からはこの病院で働く事がそれぞれの今後のキャリアに大きな影響を及ぼすことを忘れてはいけません。大学関連の他の病院に戻った時や自治体の他の部署に移った時に、ここでのキャリアは良きにつけ悪きにつけ評価されます。国家の財政が破綻を来しそうなのに平然と今までのやり方を維持することはできないように、ここで考え直して、この病院の健全な経営ができるように各自が工夫しなければ、皆さんのキャリアパスに陰を落とすこととなってしまいう事態も起こりうるということです。

病院の看護体制が7：1看護から、10：1に格下げとなれば、労働環境はさらに悪化して、離職者が増えるといった負のスパイラルに突入してしまいます。そのためになんとか病床稼働率をあげ、看護必要度の高い患者も受け入れ、効率のよい医療を目指さなければなりません。

埼玉県地域医療構想も28年度内には策定されるようです。身の丈に合った病院運営を念頭に、皆が同じ方針のもと、同じ方向を向いて行動してゆくことが求められます。

病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術、豊かな感性で高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

目 次

第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	12
(4) 配置図等	14
(5) 病院機構図	16
(6) 施設の概要	18
(7) 主要医療機器等一覧	20

第2章 平成27年度業務

第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	23
(2) 財務に関すること	25
(3) 業務の委託	33
(4) 光熱水費の状況	34

第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	35
(2) 診療報酬に関すること	40
(3) 院内死亡数及び解剖数	41
(4) 臨床検査科業務	42
(5) 薬剤科業務	45
(6) 栄養科業務	49
(7) 放射線科業務	51
(8) 内視鏡室業務	58
(9) 中央手術室業務	59
(10) リハビリテーション科業務	60
(11) 臨床工学科業務	63
(12) 人間ドック集計	64
(13) 看護部業務	66
(14) 緩和ケア業務	70

第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	71
(2) 著書及び論文発表	82
(3) 研究発表	
1) 内 科 Release from Th1-type immune tolerance in spleen and enhanced production	

	of IL-5 in Peyer' s patch by cholera toxin B induce the glomerular deposition of IgA.....	86
2) 消化器科	腸重積を合併し、大腸内視鏡で整復した Low-grade appendiceal mucinous neoplasm の一例.....	100
3) 小児科	最近 5 年間に経験した有熱性尿路感染症 94 例の検討.....	103
4) 整形外科	Open wedge HTO における臨床評価と画像評価の相関.....	105
5) 脳神経外科	新規経口抗凝固薬 (NOAC : novel oral anticoagulant) 内服下に当院入院となった脳梗塞患者の検討.....	107
6) 産科・婦人科	術前経口補水液による ERAS プロトコールの導入とその効果の検討 －Enhanced Recovery After Surgery (ERAS) の普及にむけて－.....	112
7) 放射線科	間質性肺炎に合併した肺腺癌の 1 例.....	117
8) 臨床検査科	当院における胎児超音波スクリーニングの現状.....	120
9) 薬剤科	SGLT 2 阻害薬からみた新規医薬品の副作用情報の不足点とその対応について.....	125
10) 3-1 病棟担当	効果的な学習方法の確立に向けた取り組み キーワード : NPPV 管理 技術の習得 体験型 学習方法.....	128
11) 6-1 病棟担当	人工膝関節全置換術患者のベッドサイドリハビリテーションの効果を検証する～自動運動パンフレットによる膝関節可動域の拡大を目指して～...	131
(4) 平成 27 年度ガス・メス納め集会より		
1) 麻酔科	麻酔科・中央手術室手術統計.....	134
2) 循環器科	循環器科年次報告.....	136
3) 外科	外科手術統計.....	138
4) 整形外科	整形外科手術統計.....	139
5) 脳神経外科	脳神経外科手術統計.....	141
6) 皮膚科	皮膚科手術統計.....	142
7) 泌尿器科	泌尿器科手術統計.....	143
8) 産科・婦人科	産科・婦人科手術・分娩統計.....	144
9) 眼科	眼科手術統計.....	146
10) 臨床検査科・病理診断科	病理・細胞診・解剖統計.....	147